

動脈硬化とは？

血管壁にコレステロールがたまり、血管が狭く血液の流れが悪くなったり、固く破れやすくなったりする状態です。



日本病理学会 ホームページより

画像上：動脈硬化を来した血管

大動脈の弾力性は失われ、高度の石灰化、潰瘍形成がみられる

画像下：正常の血管

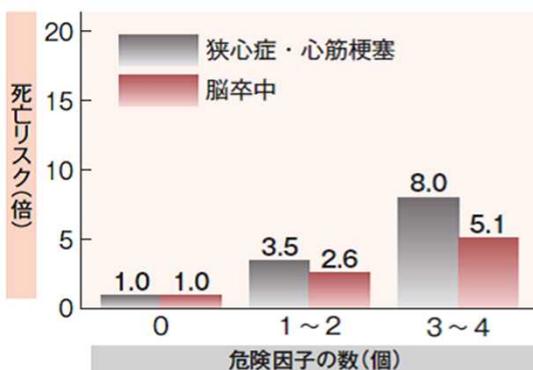
動脈硬化は無症状で進行していきます。一度進行してしまった動脈硬化は正常に戻ることは難しいです。

危険因子

動脈硬化を来す原因を危険因子といいます。

- 脂質異常症
- 喫煙
- 高血圧
- 糖尿病
- 慢性腎臓病
- 加齢
- 肥満

●死亡率は危険因子の数に比例する



動脈硬化の危険因子（肥満、高血圧、高血糖、脂質異常）の数と、狭心症・心筋梗塞、脳卒中の死亡率を比較したものの。危険因子が3～4個の人は、0個の人に比べて、狭心症・心筋梗塞のリスクは約8倍、脳卒中は約5.1倍にまで上がる。

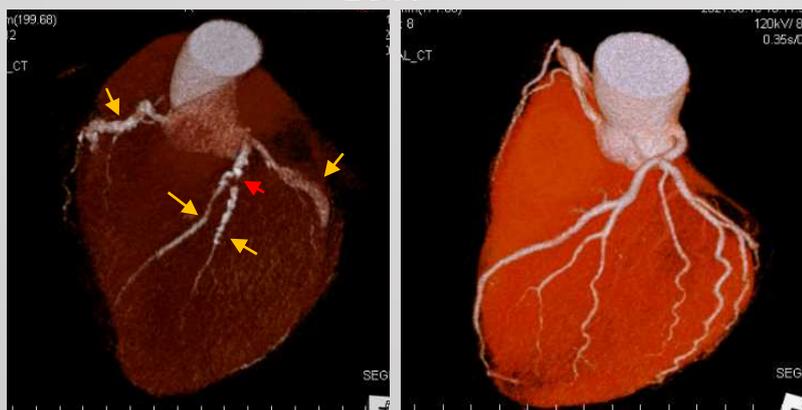
(NIPPON DATA 80:1980-1994)

検査

形態学的検査：頸動脈エコー、CT、MRI、血管造影

血管機能検査：ABI、CAVI

冠動脈CT



動脈硬化例

正常例

右の正常例ではしなやかで太い血管が発達しています。左の動脈硬化例は血管全体に石灰化(→)が高度で形が凹凸しており、狭窄を疑う途絶(→)も見られます。

動脈硬化は高度に進行すると血管の治療も難しくなるため予防が重要です。